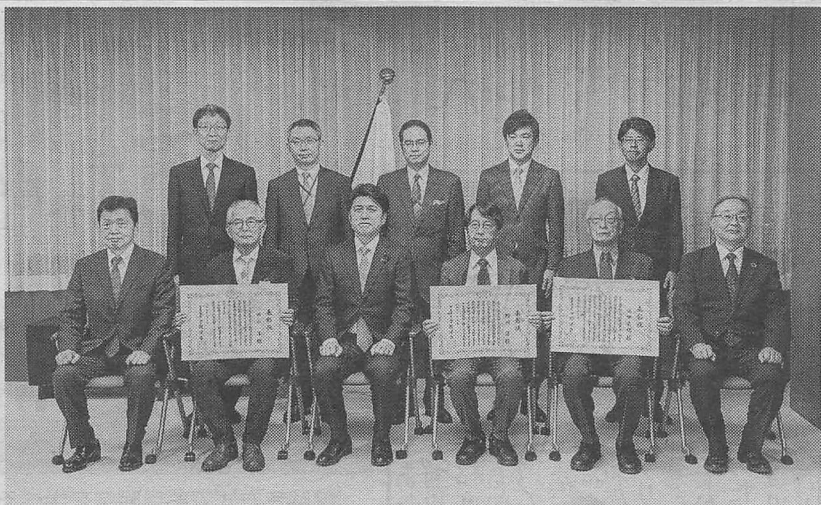


交通文化賞の受賞者(前列左々番目から田中敦さん、中野国土交通大臣、野川忍さん、池田良穂さん)



日本の交通文化に貢献

3人が
受賞

国土交通省は、2月18日、令和6年度交通文化賞の表彰式を同省において開催した。第66回を迎える同賞は、公的活動、学術研究、芸術活動、国際的活動等を通じて、日本の交通文化の向上に著しく貢献された人物に贈られるもの。表彰式では、中野洋昌国土交通大臣から受賞者3人に表彰状等が授与された。

同賞の受賞者は次のとおり(敬称略)。
野川忍(70) 明治大学法科大学院法務研究科教授・交通政策審議会海事分科会長

池田良穂(74) 大阪府立大学名誉教授・大阪公立大学客員教授
田中淳(70) 東京大学名誉教授・東京大学大学院情報学環特任教授

船舶を若者へ啓発

池田 良穂さん

今年度の交通文化賞に、認知度の向上に寄与した功績が認められた。名誉教授の池田良穂さんは、本紙「灯船」の欄の執筆者。船舶の横揺れ減衰力に関する研究に努めるとともに、その知見を基に造船工学分野の学習教材作成や船舶工学の啓蒙活動など、日本社会における船舶への理解を深める活動に尽力している。

池田さんの受賞の喜びは、本紙「灯船」の欄の執筆者。船舶の横揺れ減衰力に関する研究に努めるとともに、その知見を基に造船工学分野の学習教材作成や船舶工学の啓蒙活動など、日本社会における船舶への理解を深める活動に尽力している。

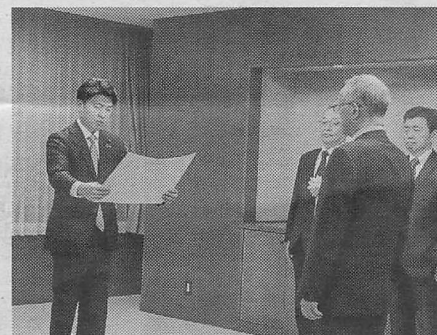
私の大学院学生時代の研究である「船舶の横揺れ減衰力」の研究が、受賞理由の最初に記載されました。

私の大学院学生時代の研究である「船舶の横揺れ減衰力」の研究が、受賞理由の最初に記載されました。

で、横揺れの問題、海洋開発機器の波力、船酔い、AS条約の中に記載されていることも大変名誉なことと思っています。

また、造船を目指す学生(大学生向け及び高校生向け)のための教科書の編集、そして船の啓蒙書の著作も評価いただいたおり、これもうれしく思っています。

中野大臣から表彰を受ける池田さん



は、船舶の横揺れ減衰力から始まり、10年おきに新しい分野に取組み、若人たちに、ぜひとも船に目を向けていただきたいと思います。